

令和元年度 都城市立沖水小学校 学校評価報告書

学校評価 「自己評価」・「自己評価の適切さ」＝4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価			
	結果の考察・分析	評価	改善策	意見等		
学校の教育活動全体	1 子どもたちは、学校に楽しんで行っていますか。	アンケートを見ても、学校に楽しく通っていると感じている保護者や児童が多いことが分かる。	3	児童に学級・学校内に自分の居場所、役割をもたせ、自己有用感・自己肯定感を育てる。登校を渋る児童には、家庭への働きかけや第三者を交えた面談等を活用し登校を促す。	3	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が楽しく学校に通っている。登校時は楽しんでいる様子である。 子どもたちの表情や様子から感じられる。新学期は1年生が一部登校することに苦労している。 一人一人の能力や個性に応じて指導が工夫されている。 IT等の環境の充実が望まれる。 昨年度に比べ、教職員の評価が、下がっている。具体的にどのような場合にそう感じるのか聞き取りをして、改善できるよう働きかけて欲しい。 保護者の対応は概ね積極的である。 授業参観は参加者が多いが、懇談会で減るのはどうか。学年によっても差がある。 働いている保護者も多いので、難しい面もある。 参観日の回数を減らし、参加が必要と思えるような知らせを工夫する必要がある。駐車場も企業への貸し出しを依頼したり、学年ごとの割り振りなどの工夫も検討してはどうか。 教職員の評価が上がっているのは嬉しい。PTA活動の積極的な参加を先生方は重点的に評価して欲しい。 保護者への呼びかけの方法としては学校だより等が必要である。
	2 学校（先生）は、学校や子どもたちのことを考えて、一生懸命に取り組んでいますか。	児童からの評価が高い。保護者は学校での取り組みは見えにくいため、学校の取組を発信していく必要がある。	3	一人一人のよさや個性を認めながら、授業の工夫や学級づくりに努める。 評価項目が子どもには分かりにくいため、焦点化する必要がある。		
	3 あなたは、参観日や学校行事、PTA活動に進んで参加していますか。	保護者・児童ともに参加している自覚のある人が多く、保護者の自己評価は高い数値だが、懇談会の出席率は低い。職員も懇談への参加はもう少しと感じている。働いている保護者が多いので、難しい面もある。	2	懇談会のもち方について、工夫・改善、検討する必要がある。 駐車場の問題は、数的に限界がきていると思う。車でなく徒歩や自転車で来るようにしていかないと無理な面もある。		
学力向上	1 先生は、子どもたちに確かな学力を身に付けるために、分かりやすい授業をしていますか。	児童からの評価が高い。これからも児童にとって分かりやすい授業を行っていく必要がある。	3	授業力の向上に努め、少人数指導や個別指導の在り方を工夫していく。教材研究の時間が確保できるとともに、教材・教具が充実するようにする。	3	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の個性に応じた教育に積極的に取り組んでいると感じる。学校はよく努力している。 子どもたちが勉強に前向きになっているのは良い傾向である。保護者や教職員が後押ししていくとよい。 改善策が一人一人の教師にしっかり意識され、具体的な行動に反映されることを望む。 教材等の工夫、個人差に応じた分かり易い指導が必要である。 空調等の教室の設備が整っていくのでよい。
	2 先生は、子どもの学習への意欲（やる気）を引き出していますか。	児童は、83%の評価でやる気を引き出されていると感じている。これからも児童の頑張りを認め、自己肯定感を高める指導に努める。 児童は、前項目とのポイントの差があり、質問の意味を捉えられていないのではと考えられる。	3	単元や1単位時間における導入の工夫に今後も努める。例えば、タブレットやパソコンの活用や視覚資料を用いて、子どもの学習への意欲（やる気）を引き出すような手立ての工夫をする。分かる授業のためには教材研究の時間の確保も必要である。		
	3 子どもたちは、学習のきまり（話し方、聞き方等）を身に付けていますか。	学年によっては、随分話を聞けるようになってきている。児童の自己評価は高いが、保護者や職員から見ると学習のきまりはまだ身に付いていないと感じている。 個人差もあるが、話を聞く態度が十分身に付いていない。	2	目を見て話を聞くなど、細かい声かけをしながら継続して地道に繰り返し根気強く指導することで身に付けさせる。学習のきまりが身に付いている児童を称賛することも大切である。授業の中で、書く量を限定し、書く時間と聞く時間を分けるといった工夫も必要である。 話し方・聞き方のスキル（練習）を積み重ねる必要がある、それを入学時などに保護者にも知らせる手立ても望まれる。		
	4 お子さんは、読書を進んでしていますか。	図書担当や学年でそれぞれ工夫しているが、なかなか結果につながらない。保護者・教員は低い評価で、児童が本を読む姿を見ていなかったり、借りるが読んでいなかったりするからではないかと考えられる。また、時代の変化で紙の読書ばかりが全てではなく、ネットやスマホの普及で情報収集の方法もたくさん出てきたことも要因と考えられる。	2	読み聞かせや図書室利用を進めることで、読書の習慣づけを図るとともに、家庭で、週末親子読書の啓発を引き続き行うなどして家庭での読書に親しむ習慣づくりをする。 子どもたちの読書の実態や図書室で借りた本の冊数を通信等で知らせる等、読書意欲を向上させる手立てを今後も工夫する。		
	5 お子さんは、毎日、家庭での学習をする習慣が身に付いていますか。	習慣が身に付いている児童が多いが、一方で身に付いていない児童は固定化しており、個人差が大きい。保護者の協力もあり家庭学習にしっかり取り組んでいる学年もある。家庭学習は保護者の意識の差も大きいと感じる。	3	児童自身への働きかけや、家庭への啓発、保護者の協力、家庭での取組の継続を働きかける。また、児童に合った課題を出すなどの工夫もしていく必要がある。		
心の教育	1 お子さんは、気持ちのよいあいさつを進んでしていますか。	児童の自己評価は高く、児童は自分ではしているつもりだが、挨拶の習慣が十分身に付いているとは言えず、「気持ちのよい」挨拶までには達していない。学校外（地域）での挨拶がもう少しだと感じる。	2	挨拶や会釈等について、地道に繰り返し日々の指導を行うことで身に付けさせるとともに、家庭への啓発も図る。また、できている児童を称賛するとともに、大人や高学年が積極的に挨拶し手本を示していく必要がある。	3	<ul style="list-style-type: none"> 登校時挨拶すると、しっかり返してくれる。まずは、大人が模範を示すことから始まると思う。 「挨拶運動」に参加し元気のいい挨拶に元気をもらった。一人一人に向けて挨拶をすることが大切である。例えば、保護者が参加するのもよいのではないかと思う。保護者がお手本にならなければと感じることで、安心して挨拶できる大人が増え、学校外での挨拶も推進できるのではないかと感じる。 多くの子どもたちは挨拶が身に付いている。大人が先に挨拶することで子どもも導かれる。 挨拶をする子どもとしない子とはっきりしている。声が小さい。 登校時に挨拶する児童としない児童の割合は3：2ぐらいである。

心の教育	2	お子さんは、友達と仲良くしたり人に親切にしたりすることができていますか。	全体的にできているように感じる。児童自身も、友達と仲良くできていると思っている。中には、人間関係の構築ができない児童や言動が荒く思いやりに欠ける児童もいる。	3	心のアンケートを通して、問題の把握につとめ解決に努める。また、保護者に、児童の学校での姿を定期的に知らせいく。 ソーシャルスキルトレーニングを学級活動に取り入れるなどの手立ても工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達関係は、グループ（仲間）の差があると感じる。 ・人権に関しては、全般的によくできている。 ・全般的に友達愛を持っている子どもが多い。先生たちの指導によりいじめは少なく、よいコミュニケーションがとれている。 ・いじめに関して学校は、多くの時間と労力を費やして解決していると感じる。 ・保護者の評価が下がっているのが気になる。保護者と教師の信頼関係づくりが課題ではないだろうか。 ・いじめについては、今後も注意深く見守る必要がある。
	3	学校（先生）は、人権に配慮するとともに、いじめのない学校及び学級づくりに取り組んでいますか。	全体的にできているように感じる。問題やトラブルが起こったときには、その都度、双方の話をしっかり聞き対応していると答えた学年が多い。教師の人権意識を更に高める必要もある。	3	児童の様子を常に見て、気になる際には声掛けを行い、保護者に、通信等で、知らせる。「沖水っ子人権宣言」の行動計画の作成などを通じ、児童の主體的で積極的な取組を推進する必要がある。教師の人権意識を高めるため、研修を充実させる必要がある。	
	4	お子さんは、学校のきまりや交通安全、公衆道徳などのきまりを守っていますか。	職員は、問題行動等の日々の生徒指導に追われているため、厳しい評価になっている。よくできている児童もいるが、下校時、通学路を帰らないなど、一部気になる児童もいる。	2	道徳や全ての教育活動において指導していくとともに、現場での指導や個別の指導を繰り返す。を活用する。また、児童の危険予知能力や危険回避能力を高めるようにする。	
	5	子どもたちや先生は、清掃や美化活動（環境整備）に努めていますか。	清掃がある際には、一生懸命取り組んでいる。清掃に対する意識は育っているが、一方で意識の低い児童も見られる。床にごみ等が落ちていても拾わない児童が多い。教師の目が行き届かない状況もある。トイレ、花壇、運動場にゴミが落ちていて使い方も悪い。	2	清掃指導の徹底を図っていく。また、児童の環境美化やボランティアへの意識を育てる。	
	健康安全・体力向上	1	お子さんには、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いていますか。	概ねよくできている学年もあり、結果はよい。一方で朝食を食べてこない児童もいるなど家庭環境の差も感じる。	3	
2		お子さんには、歯みがきの習慣が身に付いていますか。	概ねよくできている学年もあるが、児童の朝晩の様子は把握しにくい。家庭で朝・夜しっかり磨いているようだが、歯ブラシを忘れて来たり、朝歯磨きをせずに学校に来たりしている児童がいて気になる実態もある。	3	保健室からのお知らせ等は引き続き行い、保護者への呼びかけを続けていくことで、家庭の協力を期待したい。	
3		学校は、安全管理や事故防止に努めていますか。	高い評価であるが、施設の老朽化が目立つ。予算が伴うものに関して難しいところはあるが、改善が必要である。	3	今後も、施設の修繕をしたり、修繕の要望をしたりして、安全管理や事故防止に努めていく。	
4		お子さんは、進んで運動していますか。	保護者の評価が低いことから、ゲーム等に依存し、土日に運動しない児童がいるのではないかと考えられる。スマホやタブレットなどのメディアの弊害や遊び場所がないといったことが原因であるとも思われ、二極化も見られる。熱中症等を考慮すると、外遊びを勧められない現状もある。	2	身近な運動を紹介するなど興味をもたせる。例えば週末に「親子でなわとび」を奨励するといった、運動の習慣化を図れる工夫を考えていく。体育の授業で、運動時間の確保をしたり、昼休みに外で遊ばせたりする。	
連携・その他		1	学校は、教育方針や教育的課題等を分かりやすく伝えていきますか。	学校だよりや通信などの発行を通して方針や教育課題を発信しているが、十分に伝わっていない面がある。	3	学級通信や学校便り等で教育方針や教育的課題等で分かりやすく伝えていく。また、学校で配布されたプリントを確実に持ち帰らせることも大切である。
	2	先生や学校は、お子さんのことについて相談がしやすいですか。	職員は、教育相談に応じることができていると感じているが、職員の多忙感を考え、相談を遠慮されている保護者もいると考えられる。	3	時間の確保が難しい中、個人面談の実施について検討していく必要がある。電話やお便り等を活用しながら、相談しやすい環境づくりに努める。	
	3	学校は、地域の教育力を取り入れた教育活動を実践していますか。	学年・学習内容等で差があるため、一概にはとらえにくいですが、沖水小地区の人材などをうまく活用していると考えられる。町探検等で地域との関わりを今後も深めていくことが大切である。	3	今後も地域の素材や人材を生かした学習を推進していく。 学校運営協議会との連携を深め、地域ボランティア（子どもの見守り、丸付け、授業の見届け）の活用についても検討していく必要がある。地域の方に活動を知らせるようにする。	